



平成19年度

環境報告書



クボタ精機株式会社

クボタ精機株式会社

1

工場概要

住所	〒587-0042 大阪府堺市美原区木材通4丁目15番5号
従業員数	392名
敷地面積	本工場 16248㎡(工業専用地域) 東工場 6717㎡(準工業地域)

2

事業概要

事業内容	農業用機械部品(油圧機器、その他精密機械部品)の設計及び製造と販売
主要製品	C18用シリーズ HST一体型ミッション RTV900搭載用 HST一体型ミッション



油圧製品

3

工場変遷

昭和22年(1947)	旭産業(株)設立
昭和48年(1973)	旭産業(株)よりクボタ精機(株)に社名変更
昭和49年(1974)	(株)クボタ宇都宮、筑波工場向け部品供給のため、子会社関東クボタ精機(株)を設立
平成12年(2000)	事業構造改革元年と位置付け、HST*1事業を立ち上げた。
平成13年(2001)	建設機械用油圧モータ、2002年度はKMA社*2向けバルブ事業を受注し、2003年度トランスミッション、2004年度はポンプ事業に進出し、油圧機器専門メーカーとして、事業構造改革、企業体質強化に全社をあげて強力に推進している。
平成13年(2001)	資本金を3億円から4.8億円に増資した。
平成18年(2006)	売上げ200億円を突破。

*1: HST = 静油圧無段変速機 (Hydrostatic Transmission)

*2: KMA = Kubota Manufacturing of America Corporation

クボタ精機株式会社

4

環境方針

Kubota

環 境 理 念

クボタ精機株式会社は、地域及び地球規模での環境保全の重要性を深く認識し、各種油圧製品の開発及び製造の各段階における環境との関わりを評価し、地域社会や地球環境に配慮した活動に取り込むことを、企業理念として実行して行きます。

環 境 方 針

- 1 原材料の購入から使用、廃棄、回収と生産・サービスの各段階において環境負荷の低減及び汚染の予防を図り、生産方法の改善、使用原材料の見直し等、長期的で幅広い観点からの施策を実施し、ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築、実施し、その継続的改善に努めます。
- 2 当社の環境側面に関係して適用可能な法令、条例及び同意したその他の要求事項について遵守し、管理基準を設定して、維持することに努めます。
- 3 本方針を実践するための具体的な目的、目標及び施策を明確にするとともに、その実施状況を定期的に確認し、見直しを行うよう努めます。
- 4 環境管理活動の重要性を全従業員に徹底し、環境保全に対する意識の向上に努めます。
- 5 地域での環境保全活動への参画、支援に積極的に取り組み、地域との共生に努めるとともに、本方針は、要求に応じ一般にも公開いたします。

2007年 1月15日

代表取締役 社長 小笠原 良和

クボタ精機株式会社

クボタ精機株式会社

ISO14001 認証取得活動状況

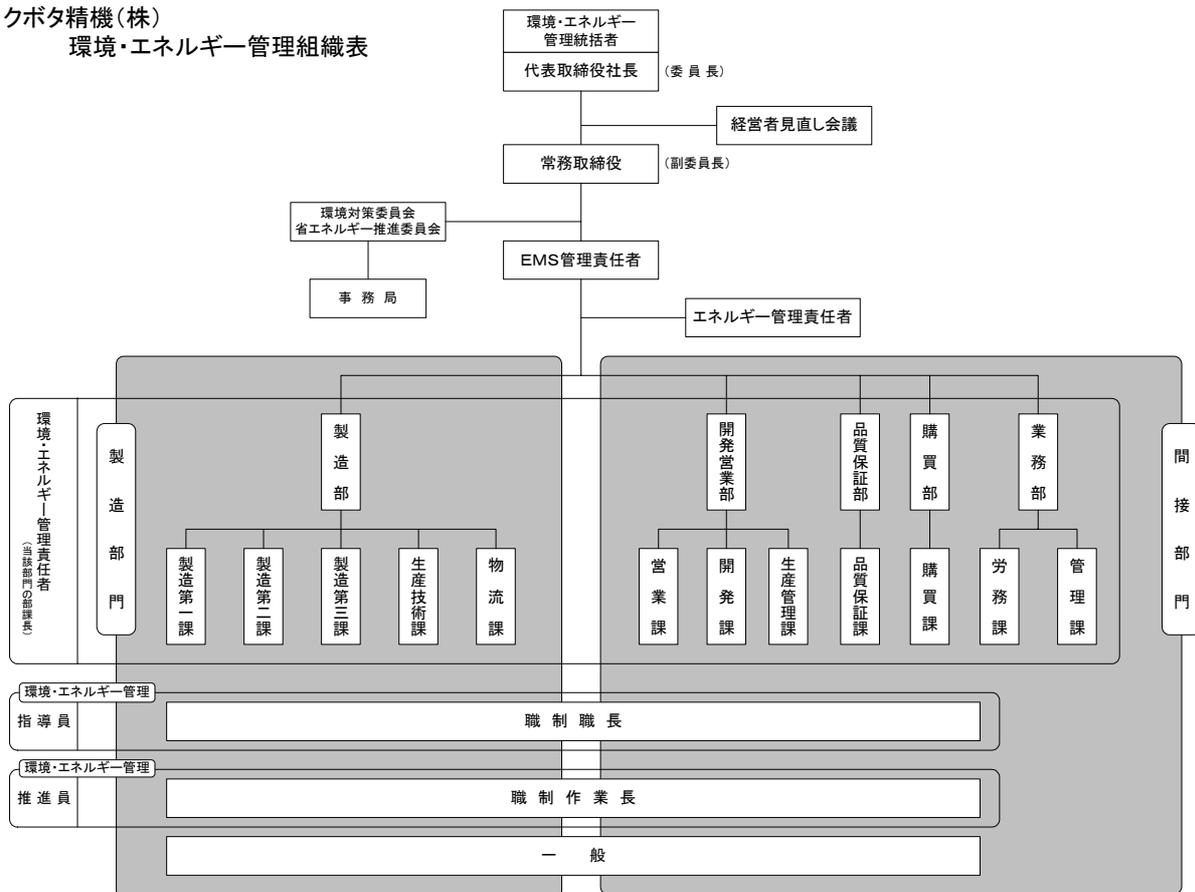
平成18年	7月 3日	小笠原社長によるキックオフ宣言
平成18年	7月14日～15日	内部環境監査員教育受講
平成18年	7月～12月	環境マニュアル等書類整備
平成19年	1月12日～13日	予備審査(ロイド社)
平成19年	2月13日～14日	ステージ1審査(ロイド社)
平成19年	3月14日～16日	ステージ2審査(ロイド社)
平成19年	3月20日	認証取得(YKA 4003899)

ISO14001:2004 / JIS Q14001:2004



ISO14001 推進体制

クボタ精機(株)
環境・エネルギー管理組織表



5 環境パフォーマンス

産業廃棄物の管理

1. 産業廃棄物の管理方法

従来の『産業廃棄物処理基本台帳』から(株)クボタの環境情報管理システム (KEDES) に変更。 但し、H19年度までは新旧で管理する。



H18年度 産業廃棄物処理基本台帳
(マニフェスト管理台帳)

データ発信先

H18集計表

予算	支払金額合計	残額
H18上期 7800000	6,287,300	1,312,700
H18下期 9110000	4,986,550	4,123,450
通期	16710000	11,273,850

1. 雑芥類 (0.2: 廃油水 (L), 3: 汚泥 (t), 4: パソコン・電化品, 5: 建設廃材 (m), 6: 一般廃棄物
7: カン類, 8: タンホール, 9: 書類, 10: 新聞・雑誌, 11: プラスチック類 [ビニール] (m), 12: ガラス類, 13: 特管物, 99: その他
↓ 回収期限: B2: D票 (交付日から90日・特管物は60日), E票 (交付日から180日)

交付年月日	交付番号	交付担当者	処理業者	産業廃棄物名	処理数量	支払金額	消費税	トータル金額	B2票回収日	回収記録者	D票回収日	回収記録者	E票回収日	回収記録者	紛失理由		
H18.4.5	20326793734	62	岡村 謙	429	タイセイ	2	廃油水	4000	68,000	3,400	71,400	H18.5.7	62	岡村 謙	H18.5.7	62	岡村 謙
H18.4.5	20326793723	62	岡村 謙	429	タイセイ	2	廃油水	4000	68,000	3,400	71,400	H18.5.7	62	岡村 謙	H18.5.7	62	岡村 謙
H18.4.5	20326793701	62	岡村 謙	429	タイセイ	2	廃油水	8000	136,000	6,800	142,800	H18.5.7	62	岡村 謙	H18.5.7	62	岡村 謙
H18.4.10	20326792694	62	岡村 謙	429	タイセイ	1	雑芥類	2	100,000	5,000	105,000	H18.4.28	62	岡村 謙	H18.4.28	62	岡村 謙
H18.4.10	20326792694	62	岡村 謙	641	関西特殊	2	廃油水	400	12,000	600	12,600	H18.4.10	62	岡村 謙	H18.4.10	62	岡村 謙
H18.4.10	37047641610	62	岡村 謙	641	関西特殊	2	廃油水	900	27,000	1,350	28,350	H18.4.10	62	岡村 謙	H18.4.10	62	岡村 謙
H18.4.10	20326793690	62	岡村 謙	429	タイセイ	2	廃油水	4000	68,000	3,400	71,400	H18.5.7	62	岡村 謙	H18.5.7	62	岡村 謙

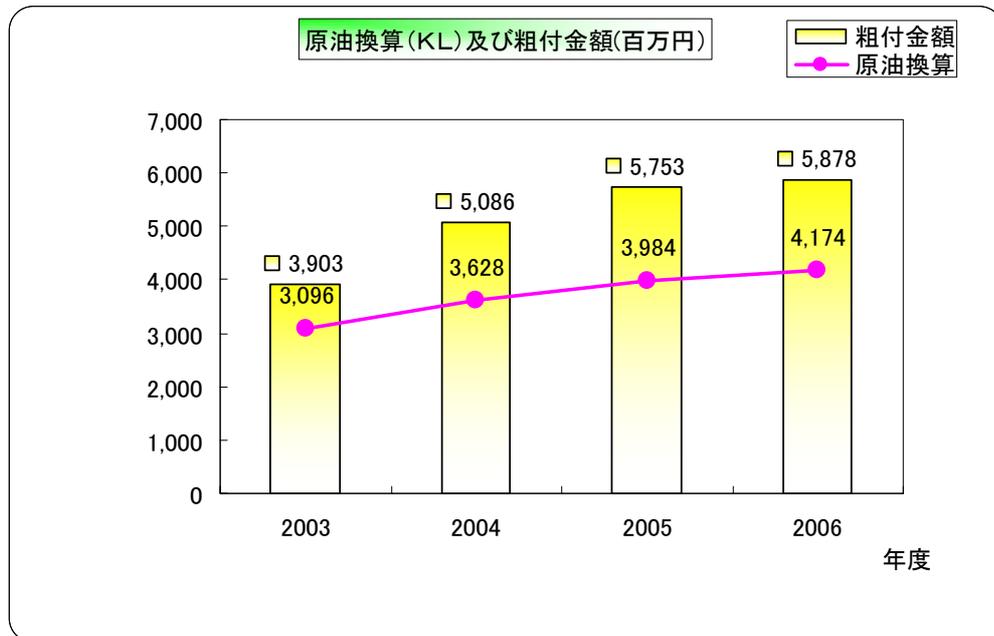
2. 産業廃棄物の処分量推移

廃棄物名	単位	2003(H15)	2004(H16)	2005(H17)	2006(H18)
雑芥類 (ごみ)	t	118	134	74	54
廃油水	t	171.5	262.3	382.6	348.8
汚泥	t	6.3	20.6	8.7	19.2
建設廃材	t			3.7	0
プラスチック類	t			18.9	35
ガラス類	t			3	0
処分量計	t	295.8	416.9	490.9	457.0
粗付金額 (百万円)		3,903	5,086	5,753	5,878
処分量 / 粗付金額	%	0.076	0.082	0.085	0.078
前年度比	%		7.9	3.7	-8.2

クボタ精機株式会社

2) エネルギー使用量の推移

エネルギー名		単位	2003(H15)	2004(H16)	2005(H17)	2006(H18)
エネルギー名	電気	KW	9,575,806	11,025,584	12,452,828	13,589,115
	都市ガス	m ³	527,722	661,974	719,363	636,311
	ガソリン	L	7,088	7,381	7,448	7,700
	軽油	L	12,727	12,175	10,198	10,036
	灯油	L	1,616	1,820	2,264	96
	LPG	m ³	2,996	2,990	3,374	3,728
原単位	原油換算	KL	3,096	3,628	3,984	4,174
	粗付金額	百万円	3,903	5,086	5,753	5,878
	原油換算／粗付金額	%	0.793	0.713	0.692	0.710
	対前年度比	%	-	0.899	0.971	1.026



クボタ精機株式会社

▶▶ 天然資源枯渇の低減

- ・紙の消費量を前年比5%削減

今年度は、ISO9001・14001の認証取得活動もあり、目標の前年比5%削減が達成できなかった。

- ・グリーン購入法に基づく購入の推進

再生紙導入率 41.2% (昨年度実績 0%)



目的・目標の達成状況

(2006/04/01～2007/03/31)

	単位	目標	実績	達成率	評価	備考	前年比
エネルギー消費量(原単位)の低減 (前年比 1% 低減)	kl	692,508 (688,670)	710,066	97.40%	▲	目標値は前年比△1%	2.60%
産業廃棄物の低減 (前年比 5% 低減)	千円	11,135	11,273	98.76%	△	目標値は前年比△5%	-3.80%
紙の納入量を低減 (前年比 5% 低減)	kg	4359.36	5,109.48	82.79%	▲	目標値は前年比△5%	11.30%
社用車の燃料使用量を低減 (前年比 5% 低減)	ℓ	7,091	7,700	91.41%	▲	目標値は前年比△5%	3.20%

自己評価の基準 : 目標超過達成 : 目標達成 : 目標概ね達成 : 目標未達成

環境関連法との対応状況

▶▶ 大気管理状況

当社として、大気汚染の特定管理施設は無く、大気汚染の管理の必要はありませんが、当社の社用車ステッカーを貼付ポスターを掲示しアイドリングストップ運度を展開しています。また、当社工場に出入りする協力会社の輸送用トラック等については、協力会社へ「環境保全活動への協力依頼」をし、アイドリングストップ運度を展開しています。

▶▶ 水質管理状況

排水処理施設としての特定管理施設はありませんが、湿式集塵機からの排水があるため、水質調査を実施した結果、全て規制基準値以内であり問題はありませんでした。

▶▶ 騒音・振動管理状況

振動発生施設は無く、コンプレッサー・マシニングセンタ・NC旋盤等の騒音発生施設からの騒音に対し、平成19年1月に外部測定機関に委託し、敷地境界線7ヶ所で昼夜の測定を実施した結果、規制基準値をクリアしていました。また、朝の測定に対して未実施のため、平成19年7月に朝・昼・夜を測定する予定です。

▶▶ 有害化学物質

当社で使用している化学物質の原材料・使用数量を化学物質使用量調査により調査し、P R T R法及び毒劇法による指定化学物質を確認して成分表及びM S D S(製品安全データ)を入手し、台帳で管理しています。年間の使用量は1t未満であるため、官公庁への届けての義務はありません。

【PCB管理】

コンプレッサー室にコンデンサー(3基)を専用缶に入れ保管し、点検を毎月実施(堺市に届出)(平成17年7月に日本環境安全事業(株)にPCBの処分を早期登録しています。)

また、環境管理部から微量PCBの取扱について指導があり、使用中の変圧器及びコンデンサーのメーカーに確認した結果、含有されている可能性があるとして報告された機器を分析した結果、事務所用動力変圧器に2.1mg/kgの含有が確認された。

第1棟西側のコンデンサー1基が未分析であるので更新時分析後処分する必要がある。

【保管状況】



クボタ精機株式会社

▶▶ 環境に関する苦情・要望について

環境に関連する苦情に関しては、発生しておりませんが、当社環境方針を開示した結果、要望された件数が72社ありました。

▶▶ 危険物取扱について

生産量増大に伴い、全体の油使用量が増加し、現在、貯蔵量の関係から油の種類を水溶性・難燃性に変更し、少量危険物取扱所として変更申請しております。また、消防署から工場の建屋の構造変更を改善命令として指摘され、施工業者を交え対策を検討中です。

8

環境コミュニケーション

▶▶ 地域の皆様との交流

- 1) 大阪木材工場団地協同組合 役員会(3回)
- 2) 大阪木材工場団地協同組合「不法・迷惑駐車」撲滅運動
- 3) 黒山消防署危険物部会 (3/22)

▶▶ 地域美化活動

- ・工場周辺の清掃活動

(冬季を除く年7回実施)

	実施日	実施職場	参加人数
1	4月26日	間接関係(業務部他)	28
2	5月24日	製造1課(11-1~11-5他)	39
3	6月28日	製造1課(10-2~10-6他)	45
4	7月26日	製造2課(14-1, 16-1他)	27
5	8月30日	製造2課及び購買部	26
6	9月27日	製造3課及び製造間接	30
7	10月25日	間接関係(業務部他)	32



クボタ精機株式会社

9

環境リスクマネジメント

環境リスクの最小化を図るために、作業標準に沿った作業を徹底するとともに設備点検や必要なメンテナンスを確実に実施しています。

▶▶ 油の流出による場外流出阻止の対応訓練

万一の環境事故の発生を想定し、汚染を最小限に抑えるための対応手順を定め定期的に対応訓練を実施しています。作成し、工場内で、油が流出したとして、

場内で、廃油を搬送する際の流出事故を想定した対応訓練を実施（07/02/12・07/03/08）



▶▶ 第2棟2Fで火災が発生したのを想定して避難及び消火訓練

07/03/08 に避難訓練
及び消火訓練を実施
初期消火活動における
消火器の使用方法
(ﾌﾞ ﾂ ﾞ防災 実施指導)





クボタ精機株式会社

〒587-0042

大阪府堺市美原区木材通4丁目15番4号

品質保証部 環境・安全衛生課

2007年6月 発行